



あやめ



with「感謝」「尊敬」
文責：生徒指導主事 櫻本直弘

暑さに負けず頑張っています (紫翠祭直前)

保護者の皆様へ

《紫翠祭実施の際のお願い》

☆紫翠祭が行われます。

9月20日(金)…紫翠祭(文化の部)

9月21日(土)…紫翠祭(体育の部)

※予備日22日(日) ※代休日24日(火)

☆両日とも、給食はありません。弁当持参となりますので、よろしくお願いします。

☆参観の際には、「保護者証」をご持参ください。複数のご家族でお越しの際には、受付で「参観証」(シール)を受け取ってください。

☆当日の保護者の方々の「駐車場」については、健康センター北側とコミュニティープール南側駐車場となります。総合体育館駐車場の利用は控えてください。なお、お近くにお住まいの方は、「徒歩」でのご来校をお願いします。

☆当日は2日間とも、安全管理上、敷地への出入口を1か所『西門』(保育所側)のみに制限させていただきます。

*その他、別紙通知(9月9日配布)の通りです。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。





相談室（スクールカウンセラー）より

「成功体験が大事」という言葉があります。私もよく使ってしまうのですが、実はカウンセラーなどサポートにあたる者が気をつけて使いたい言葉のひとつです。確かに明らかな失敗をさせるくらいなら、成功に近づけられるヒントやアイデアを提供するのは大事なことです。しかし、一方では**「成功が最善で、失敗が最悪」とも言い切れない**部分もあります。

心理学の研究では、成功体験にしろ失敗体験にしろ、それを**どのように自分で自分に説明する習慣があるか…**。こちらのほうが重要だと言われています。「成功しているから自信がつく」とか「失敗したから自己評価が下がる」とか、そんな単純なものではありません。成功したのは何のおかげなのか、失敗したのは何のせいなのか、人は自身に無意識的に問いかけます。「成功は一時的で次は失敗する」だったり、「失敗しても次はうまくいく」だったり、説明の流れにはこのような**「予想」や「期待」**なども習慣として組み込まれています。そして、カウンセリングの場で一番辛く感じるのはこの「予想」が「自分は何をやってもダメ…」というものです。

成功や失敗の心の内での説明を、心理学では**「帰属」**と呼びます。例えば失敗はいつも自分のせいだと自分に説明するのなら、きっとそれは「自分は何をやってもダメ」と説明する習慣にいずれなってしまうでしょう。**成功も失敗も個人の主観的な説明だけでは偏りも生じがちです**。大事なのは、**より健全な心の発達のための様々な説明のバリエーションとそれを柔軟に切り替える術**だと思います。大人から教訓を与えるだけでなく、子どもと一緒になぜうまくいったのか、あるいはなぜうまくいかなかったのか、考えてみてください。

この考え方の「コツ」はご相談いただければ内容にあわせてご提供いたします。

スクールカウンセラー(SC)利用案内

- <利用対象者> ・生徒、保護者、教職員
- <申し込み方法> ・電話でも直接でも申し込みできます。(学校TEL055-282-0056)
・不登校担当、学級担任、養護教諭の先生を通して申し込んで下さい。
(いずれの方法でも結構です。時間を相談の上調整してお知らせします)
- <面接時間> ・午前8時45分から、午後4時30分まで
- <今後のSC 来校予定日(2学期)>
 - 10月** 1日(火)、3日(木)、8日(火)、17日(木)、22日(火)、24日(木)、29日(火)、31日(木)
 - 11月** 5日(火)、7日(木)、12日(火)、19日(火)、21日(木)、26日(火)、28日(木)
 - 12月** 3日(火)、10日(火)、12日(木)、17日(火)、19日(木)